

令和 4 年度 大牟田市公共下水道事業概況

汚水の整備については、現在は吉野・勝立・藤田処理系統を中心に実施し、全体計画区域面積は 2,957 ヘクタールで、事業計画区域面積 2,460 ヘクタールのうち、令和 4 年度末までに 1,962.17 ヘクタールを整備しました。

国の補助事業を活用し、ストックマネジメント計画に基づいた施設の延命化を図り、効率的な施設整備に取り組んでいます。

令和 3 年度に供用開始した建設した白川ポンプ場について、現在は第 2 期白川排水区整備事業として取り組んでいます。

令和 2 年 7 月豪雨により被災した三川ポンプ場について、建替えに向けた三川ポンプ場災害復旧建設（その 1）工事委託を実施しました。今後も地元をはじめ関係機関と連携しながら、災害復旧事業に係る交付金を活用し、事業を進めていきます。

(1) 公共下水道普及状況

令和 4 年度末整備区域面積 1,962.17ha 整備区域人口 79,216 人

令和 3 年度比 53.51ha、94 人の増

令和 4 年度末処理区域面積 1,908.66ha 処理区域人口 77,852 人

令和 3 年度比 47.47ha、218 人の増（人口普及率 72.3%）

令和 4 年度末水洗化戸数 32,574 戸

令和 3 年度比 729 戸の増（水洗化率 72.1%）

(2) 財政状況

収益的収入総額 4,006,130,279 円

令和 3 年度比 168,946,169 円の増

（下水道使用料 1,346,310,846 円、令和 3 年度比 15,989,364 円の増）

収益的支出総額 3,347,211,594 円

令和 3 年度比 99,537,259 円の増（減価償却費、資産減耗費の増）

収支差額 658,918,685 円の純利益、平成 22 年度から 13 年連続の黒字決算